

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成31年2月12日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1. (1) 第59回原子力規制委員会定例会が、明日13日水曜日の午前中に開催される予定でございます。議題は5件予定されております。

まず、議題1「実用炉等以外の原子力施設に対する内部脅威対策の強化等のための原子力規制委員会規則等の改正について（案）」。こちらは昨年11月14日の委員会におきまして、本件の関係規則などについて審議を行い、これに基づいて意見募集をその後行ってきたところでございます。その意見募集の結果を踏まえまして、関係規則を改正することについて、委員会にお諮りをするというものでございます。

次に、議題2「火災感知器の設置要件等に係る関係審査基準の改正及びこれに対する意見募集等の結果について（案）」。こちらは昨年12月12日の委員会におきまして、本件に関する審査基準の改正案について審議を行い、その後、意見募集を実施してきたところでございます。これを踏まえて改正を行うことについて、委員会にお諮りをするというものでございます。

なお、あわせて、その委員会の際の指示を受けて、火災感知設備の設置状況について確認を行いましたので、その状況についても委員会に報告をいたします。

次に、議題3「平成30年度第3四半期の保安検査の実施状況等他について」。こちらは平成30年度の第3回の保安検査の実施状況などにつきまして、委員会に報告をするというものでございます。

次に、議題4「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の中長期目標の変更について」。こちらは原子力研究開発機構の中長期目標の変更の案につきまして、先日の委員会でも審議を行ったところでございますが、その結果を踏まえた変更の案につきまして、委員会に報告をして、審議をいただくというものでございます。

最後に、議題5「九州電力株式会社玄海原子力発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書（3号及び4号発電用原子炉施設の変更）に関する審査書の修正について」。こちらは平成29年1月18日に許可を行いました、こちらは玄海の3号炉及び4号炉、こちらの許可の際に取りまとめました審査書におきまして、こちらは審査の結果に影響がないもので

ございますけれども、事業者の申請内容を記載する際に誤って記載した部分がございますので、修正を行うことについて、委員会に報告をして、確認いただくというものでございます。

次に、広報日程の1. (2) 第60回原子力規制委員会臨時会議、こちらが来週18日月曜日の夕刻5時から開催される予定でございます。こちらは日本原燃株式会社の経営層との意見交換ということで、同社の社長、副社長にお越しいただき、安全対策などについて、幅広く意見交換が行われる予定でございます。

次に、広報日程の2ページ目でございます。上段になります。2月14日木曜日、(3) 第680回の審査会合が午前中に開催される予定でございます。こちらは、審査を行う議題は1件予定されております。

東北電力・女川原子力発電所2号機についての審査でございます。内容は、建築等について、具体的には建屋の耐震性などにつきまして、これまでの審査を踏まえてコメント回答の予定でございます。

最後に、3ページ目をお願いいたします。2月18日月曜日、(10) 第68回の特定原子力施設監視・評価検討会(1F検討会)が開催される予定でございます。議題は、記載されております4件が予定されております。

まず、議題1といたしまして、東京電力・福島第一原子力発電所の中長期リスク低減目標マップ、こちらの改訂についてということで、改訂案をお示しして議論を行うという予定でございます。これまでの進捗状況を反映した改訂ということでございます。

次に、議題2として、建屋滞留水等処理の進捗状況。こちらは、毎回、状況・進捗を把握しているものでございます。具体的には残水の対策などが議論される予定でございます。

また、議題3、こちらも定例的な議題でございますが、地震・津波対策の進捗状況ということで、具体的には建屋の開口部の閉止の対策などについて、状況が報告されるという予定でございます。

次に、議題4といたしまして「多核種除去設備等処理水の全β値と主要7核種合計値とのかい離」ということで、こちらは前回の会合におきまして、この処理水の全β値と主要7核種の合計値との間に差があるということを指摘いたしました。この指摘を踏まえて、東京電力から説明をお聞きするという予定でございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

18日の監視・評価検討会ですけれども、ちょっと最近マンネリ化している気がするのです。というのは、例えば、鋭く突っ込まなければいけないことが多分たくさんあって、それが行われていない。具体的に言うと何かというと、例えばトリチウム処理済水ですね、これの放出をするのかどうするのかという問題を経済産業省は何も動いていないのですけれども、今まさに来年の上半期までしかタンク増設計画はないのに、今、何も決まっていなかったら、もう何もかもが手遅れになりますよね。こういうこととこののを積極的に議題にするべきではないかというのと、もう一つは、また2号機にロボットを投入して、デブリがかたいか、やわらかいかを見るとか、わけの分からないことを言っていますけれども、そういうことの意義も含めて、これは税金を投入している話ですから、そういうことの意義も含めて、やる必要性のあるなしも含めて、そういうものの議論というのは、この二つはやらないのでしょうか。

- 大熊総務課長 もっとこういうことも議論すべきではないのかという御指摘を含めた御質問だと思います。今回の議題については、先ほど申し上げた点、また、その他の部分で、そのほかについても、保安検査の状況などについて幾つか取り上げる予定ですが、現時点で予定されている議題は、ここに記載されているものでございます。

今、ヨシノさんから御指摘のあった点、トリチウム水、いわゆる処理済み水の問題、デブリの問題など、そういうものも議論が必要ではないかという点は御指摘として受けとめて、また今後、監視・評価検討会の中で必要な時期に必要な検討を行うように取り組んでいくということだと思いますので、御意見として受けとめさせていただきたいと思えます。

- 記者 特にロボットのことなど、東京電力の中長期リスクの低減目標マップというのが改訂されることに関連して申し上げますと、ロボットの投入であるとか、デブリ調査とかというのは、優先事項として全く入っていない。規制委員会が定めている優先事項としては全く入っていないことをやっている東京電力に対して、何かやはり言うべきなのではないかと思うのですけれども、その辺も含めてよろしくお願いします。これは意見です。

以上です。

- 大熊総務課長 意見ということですので、お答えは必要ないかもしれませんが、中長期目標マップの改訂を議論いたしますので、その中で全体の対策の状況ということは議論が行われるものというふうに思います。

- 司会 ほか、ございますでしょうか。どうぞ。

- 記者 共同通信のタケウチです。

明日の議題5をもう少し、どういう修正なのかということと、こういうことは私は見たことがなかったのですが、これまでにこのような修正はされたことがあるのかということも含めてお伺いできますか。

○大熊総務課長 議題5、審査書の修正という議題でございます。修正自体は、先ほどちょっと申し上げましたが、事業者の申請の内容を審査書に転記といいますか、こういうことがありました、こういう申請内容ですというのを転記している部分がありまして、そこにおいて、誤字、あるいはこれに類する修正を要する部分、誤りが何箇所かあったということでございます。

通常であれば、こうした修正、必ずしも委員会に諮る必要があるということでもないのかもしれませんが、審査書ということの重要性に鑑みて、今回は報告をすることにしたということでございます。

これまでにあったかということは、確認をして断言できる状況にはないのですが、私の承知している限りでは、修正を委員会に報告をしたということはちょっと思い当たりません。なかったのではないかなというふうに思います。ちょっと確認ができておりません。申しわけございません。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—